



尾形的

1都1道2府43県〇一期一景

第三十二章

旅の恥は思い出

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

その土地土地に由来したものを大きなパネルにし、顔が出せるようになっている「顔出しパネル」。まれに、その場所には全く関係ないものもあったりして、「なぜこれ？」と思うこともあるが、それはさておき、旅行に行こうとパンフレットや観光ガイドを見てみると、この「顔出しパネル」が紹介されていたりする。「こんなの恥ずかしくて撮る人なんていないよねえ…」などと思いながら、お勧めスポットを丹念にチェックし、いざ目的地へ。

愛媛県松山市と言えば、ご存じの通り、夏目漱石の代表作「坊ちゃん」の舞台として有名な土地である。様々な文化財や風情のある街並みを堪能しながらブラブラと歩いていると、例の「顔出しパネル」ともあちらこちらで出くわす。なかでもダントツに多かったのは、言わずと知れた坊ちゃんとマドンナのパネル。1個目、2個目とさすがにいくつかはスルーしたのだが、しかし何度も見かけるうちに、旅先での高揚感からか、どうしても「あの穴から顔を出したい」という衝動にかられ、ついには抑えきれなくなってパネルから顔を出し、夫の構えるカメラに収まることとなった（まあ、さすがにそれを右に掲載するわけにはいかないけれど…）。

旅先には旅先の楽しみ方がある。時に思いもよらないことが起こり、パニックったり、恥ずかしいと思うことも、後で思い出すと結構笑えたり、鮮烈な印象として心に残っていたりする。撮り溜めた写真を眺めながら、「旅の恥は掻き捨て」ならぬ「旅の恥は思い出」かも、と私は思った。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

